



俳諧初稿



利田
3869
60



利 9
3869
巻 60

初物、席



大正八年四月十六日寄
室井平藏氏贈



夢小遊潜乃自川と歳旦双紙とと
あまよひに侍り去る松中記と交
さうととさう初物足針の紅井
ぬる色月夕雪如初多と
とと一侍り一々今初小遊川
路辺乃若菜如扱くと搦て
と初一の巻と成りしと早く

如土如海よりと色はくはくしと百千鳥
鳴り鶴年以神しを何物と云ふるを

安永戊戌春

凡光村



凡例

- 一 及書彩乃具并志方故と事と記
- 一 當時高臣二十句定款良例と成
- 一 卷末亦句案の極意妙計と示



石はく弱く美と
 実情ある白
 古の古人の名
 空瓢 杖の白
 買色 梓 狂女
 少々の身投
 康 狂女
 温泉坊 茗傍
 子の湯 茶の湯
 杖の杖 替女
 物の怪 在乃舞
 揚屋 京地必
 上方必 下大方
 江戸近 生か足
 野ハ下子と下

存義

五麦の笑む肉と朱雀乃付枕
 行徒の門は空瓢乃咳拂ひ
 居りしが杖乃火吹竹
 多想一やくと結言の存
 死乃及怪々中村源左
 壬生て足と猿ハを釣馬
 揚屋乃風呂の口切りに
 綱子出さ日七 菴一音
 耳引く症乃下案と案セリ

書き怖し又之
 と云ておとしたよ
 ときよ
 いと云伺ハ皆きとを
 小一白白きと
 云候
 此外少なき救多
 づれ大三白の片後
 よりて多思つる
 りるれハ只つ
 一死及きとつ
 手に記し候

掃き多る先ハ元次ノ舞と云ひ
 口端ハ少ハ急乃く
 若井ヤ三日元次乃未元
 壬生乃故き子思る 鴻糸
 老吏婦圍乃子め七南江
 中ノ定ハ此處草中
 大知也子ハ驚啼
 祝ハ通る春ハ景 寺
 都ハ夕魚汁ハ好更
 近行ハ歳度此ハ坊主落
 立山此ハ墓子必人乃子ハ出来

買明

一作ハ此曲有
 て
 一布張のや
 来て
 有候と
 万軍
 木方
 月と香
 白
 八
 吉原
 都
 宇治
 死ね

五系ハ成ハ飲ハ極ハ若笑ハ
 傘ハ陽ハ時ハ寝ハ
 舞ハ四ハ舌ハ笑ハ
 吊乃月ハ冬ハ極ハ定ハ
 不食ハ許ハ庭乃田樂
 緩ハ七ハ菊子ハ汁
 空ハ一ハ仲ハ帆ハ
 戸袋ハ夜伽ハ小言ハ仕舞ハ
 水ハ舞ハ弓ハ七ハ二ハ

陣取の夕影さう
陰影 年男 只
物
夕影さうの古め
夕影さうの古め
夕影さうの古め
夕影さうの古め
夕影さうの古め
夕影さうの古め
夕影さうの古め
夕影さうの古め
夕影さうの古め
夕影さうの古め

大崎 塚志ん 雪の中 森の戸
芝 枯 帰 いく 不自 他 外 嫁
人 乃 又 ぬ 間 子 香 と 巻 振
雨 川 降 さい 又 一 ぬ 小 田 原
未 だ 空 さい 来 と 山 王 寺 陽 寺 戸
存 之 一 一 顔 と 振 舞 白 雲 山
来 る 幾 口 と 福 水 寺 花 傍
門 松 八 巻 々 々 人 乃 又 ぬ 間 子 香
乃 中 子 柳 々 々 々 一 巻 一 巻
提 灯 下 けて 素 直 の 講 一 傍
五 三 下 町 来 年 迄 の 別 道 寺 戸

樓川

一作初くくま 屋台
又ふり感悟し
物の白 柳の白
花の白 牡丹
買色 藤
湯泉 藤
意の白大いし
古舞面 翁
神叩 舞士
蕉門古人の名 上連女
和歌 地蔵 是古
代の花女の心
伊勢 巻
意の白分て初
くま 一

五 翌 八 判 り 兎 乃 机 一 の 扱
油 淋 七 判 り 寺 乃 凡 形 茶 一
鞠 場 子 斗 一 正 客 乃 人
土 用 千 四 石 初 之 一 京 堂 寺
齒 八 浮 下 中 候 孫 為 乃 本 戒 川
批 把 の 花 空 一 障 子 と 立 出 戸
掃 庭 と 七 夜 又 乃 隠 一 町
帚 乃 乃 俗 衣 脱 一 州 の 島
端 糸 乃 為 三 六 つ ぬ 一 心 吟 一 巻

成子り
ろ乃に
何なるゆ
ろあうう
元なるし
之より後り
る

忘れもやうぬ訓初めの所
移り気のとらうる影の叶に
あふ人々落てよわじ地獄と
雨のりのう月子け物只星
山吹ハ細工乃上く酒又嘆こ
曲るや酒屋一より中腰取
大志のそり星七あふあふり
牡丹乃あふぬ内子極泉り利
暮將暮のゆきえあふ余下の意
ま又意乃んも秋の黄菊子て
出凌よるる一柄足乃並紙

百萬

五五條橋千挽物と切小編
肝心乃町戸と建る辻あふ
子少作切ッ刀乃流とつ
古戦場石乃分り」と城あてる
并置子白尾玉と放ちる
吹巻て炎赤く血地花音
雪乃御幸子うるむ白強
流瀧子存帽子のほくぬき
生碎乃腕と袖ひて乳川

流の方しる麻
しあう
とくか合つる
あつた
暮 将来生碎
盗人 警女
坊主巻 糺女
食飲 犬 猫
歌打 地震
石仁 大仏迷子
旗巻 活
火吹竹 活
此長子とる
子うしつる仕

立て子 秋葉乃
きひ極
放ちり
捕え 重く 症
の 留り
盗人 分る 吉
意 向 至り
何れ

又あつと 産産 足さる 内表 紙
度く 人と 相と 大 木
少 留子 在く あり 素衣 法 昨
此 出 亦 七 井 穿 人 と 連 立
秋 文 と 致 七 二 三 遠 山 相
帆 掛 舟 命 の 足 と 踏 是
大 清 紙 けく 孝 け の 坂
地震 石 伝 等 七 強 く
蜜 吏 何れ 初め ぬ 辨
河 汲 ぬ 志 賀 乃 浦 波 障 子
仁 合 十 日 存 子 子 正 子

鶏口

初 子 子 子 子 子
清 子 子 子 子 子
仇 子 子 子 子 子
中 子 子 子 子 子
句 子 子 子 子 子
言 子 子 子 子 子
石 子 子 子 子 子
店 子 子 子 子 子
取 子 子 子 子 子
孝 子 子 子 子 子
笈 子 子 子 子 子
達 子 子 子 子 子
唳 子 子 子 子 子
馬 子 子 子 子 子
樂 子 子 子 子 子

五 誓 子 と 止 子 嬰 児 乃 葬
爰 冬 七 牡丹 咲 子 家 子
思 一 子 乃 程 子 子 子
其 の 致 七 三 四 初 秋 の 通 取 子
赤 子 子 子 子 子 の 横 垣
紫 子 子 子 子 子 子 子 子
国 寂 暮 子 子 子 子 子
足 子 子 子 子 子 子 子 子
浮 世 皆 子 子 子 子 子 子 子

故 子の舞
 児の舞 土衣
 翠簪 彩髻
 冷人 他家笔
 帰してはるる
 行方あふりゆり
 福まきしー白
 中実恨感法と
 出ーを拂てハ
 行ーは夢のち
 押出てハも極めし
 裏後より先
 とけり居ー
 こゝろ出るこ

白湯七茶七那ハ秋舟のり
 物川と叫ぶく鬼燈と香
 大男山秋舟の扇子のり
 笈よりまじら状と居る
 手拂るより外ハ瓦吹く
 物りまじらハ秋舟のり
 世の秋乃文字ハ焚奴浅居山
 嚏して初秋と列る今秋の納
 水晶乃珠粒子居る世の納り
 考よ之香子そわり秋舟のり
 狐の燈山徳子りるる

祇丞

活弱夫
 守一軍乃乃心
 とけり居る
 加茂 凱陣
 陣中 義加
 神文南 競る
 大推のり
 伊勢 左辻舟
 知識 柱り
 子のり 左者
 秋のり 左下
 冷人 孝り
 雪原 四代
 雪
 意の仕立

子と打てと座裏も幽々本門
 体じ方子唄今く正良神田橋
 雨漏子秋と移る歌の柳
 祈叩 今秋ハ地の上り
 二見消す山たやうと砂の上
 汲多くろ露 伽子一糸渡村天
 長作の獨一をこ返む遠石
 新兵の月ハちちくく白柳子
 討死に限る呪子香きめく

白中子急い為
 過るりと考一
 新に鳥のふゆ
 又又田女鳥
 と合取らむる
 一白ハゆきさふ
 て

第一号 浮中 以保
 赤子同い赤子言すおれい
 好来れ機織実出平身
 焚火一てお縁小赤子麻の声
 今日七臭穿小陣の影信
 菟城の命と斗る井の糸
 大定さる子流ひとる平月の意
 為武衣の好吹野近と信と立
 権の供乃知れ先へ所
 橋乃唐七の月とさか尻皮
 柳子晴とらる七とと思りれ

多少

和子仕立て
 鳥の乳味もつ
 生乳男 生乳女
 実色 雪
 振 雨舎
 上方多所 加配
 時雨 川 柳
 新の夕 藤作
 後 舟 舟
 河 舟 舟
 古代の實色 傍
 茶 登り
 さき仁
 赤心名 藤作

五時身乃番易技持し内夏博
 橋七子賣り子買のとらる
 例 少 取乃 後七 救少
 言 安く 能く 娘 尼 本 綿 賣
 辞 世 未 練 子 賣 凡 下 の 勺
 毛 七 足 是 了 言 吟 小 の 娘
 神 海 一 幸 年 乃 子 連 子 梅 平 取
 指 子 鈴 肥 村 乃 系
 ち 字 丸 来 と 南 小 錦 賣

のりかきしに
子持河子
意実をあらハ
の位立方考
白鳥羅子下
とかく好し
と才一と仕立
一併解白と
石の列るこ
之の分後り又
大くし

哥骨脾胃短女の子安方子ても
つと好の長く程茄子
庭及表子河彌陀純誦
柿と旭と念心 後 會
伯母かゆ月て足昔丸綿
以下産変子教入乃馬
大育子乃こかされ版も表こ
壬生の 敷きり子墨子 藤原
年号の寺号と有りしちの好
西入所子切毫の 斬つて
実や其噴流子噴流乃ニツ

温克

五なりくも 奏養子 積る 既久去産
及摺りて 斬り子 子の子とけ
寧子 派下 彌乃 才子 入
又と 奪れぬ 松号 托舌と 足
志 後ちの 且如 腥く 煮る
糸 唐掛く 向山 温泉子 立
綿 袋解ハ 大出 氏田乃 氣
年 号子 四部乃 伝 自ひり
赤くハ 四乃 子 申 安

新うき子
実の点乃 曲第
系と ちの 乱川
四系 既流 右月
以系 西入 下
珠教 下 东山
伏見 後 牙安
初也 番部
中系 早苗
実の点乃 新
形流 切考
綿のち 隆也
大文字 妙法 信房
恒糸切 柳乃

夕陽 暮らり
舞 舞 舞
折り 折り 折り
の 乃 乃 乃

其里乃若も坐す所の雨舎り
欠落の明りく隔る振多り
暮るが明りく隔る声
聖者く系子屋中包れん
英く後る明りの朝朝
万方と暫く暇に大漢居
大実出の三日と是装の履き靴
連きの下駄と拍せり登る
柳あつて人を牙勝ぬ乃笑ひ
木立可も明りく隔る好の音
五月雨乃庫裏子因極の鬼さく

祇徳

五形造以一谷部以夜半の鐘
吉原の鈴も中りの政事
令具よく戻る温泉の気持
大金貝子度る 不 後
坐へ帯解く 襦の吉原
七官宿も参る 伊豆の慈悲
医業乃門子 鼎 絶へ入
土弓へ舞ふ 出京さし
基弘の明りく隔る声

浄土の 浄土の
心 心 心
新の 新の
つ つ つ
有 有 有
法 法 法
伊 伊 伊
鼎 鼎 鼎
番 番 番
子 子 子
在 在 在
已 已 已
常 常 常
ろ ろ ろ
入 入 入
方 方 方

何よりよき事
おちる事おぼ
一教古の詞
買色ハ止以揚
れこれハ
高村の口えの
多し
廣くすれ
多し
立上心

手海白
秋乃白
盗人 藤作
茶乃湯 日の胤
物怪 生 狐
死 狸 雪女
野伏 戒
狐 大生
捕まれ 大生
大相 禿
他 感

法華と申乃 魚の糸
香分て 眞乃 免持
尊馬 少れや 奉及 三人
脇子 乃 相 取
大吉 乃 乃 出 南 禅 寺
従 乃 乃 豆 乃 乃
庄 乃 乃 乃 乃
筋 乃 乃 乃 乃
伊 乃 乃 乃 乃
素 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃

小知

五捨乃 乃 乃 乃 乃
捕まら 花 盗 人 乃 乃
化 乃 乃 乃 乃 乃 乃
喝 乃 乃 乃 乃 乃 乃
大 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃

冥悟の白く
うしむる
其味合行
たておま
りて化
りて
りて

七人去て 昨の傍り墓
道跡より正トク一言も傳ふ
枯中 尼より成と昨の改分
採多ッ火子敷の燃る歌き山
吹礼乃 裾冷 破る口乃 氣
廢一投く 或る火もらぐの緑
大物乃 悟の僧方 込て 何ら
白徳七 紅葉方 終のち
犯 孤 伽り 寺乃 大寺
頼乃 使の 履 替へる 岩
字 寮ハ 仏乃 為の 氣物り

在轉

浄子又わ
あつた
おれ
地
巨
西
福
白
く
恒
物
川
自
意
中

五葉粟ヤ 累平坊乃 三ツ 舞
あも 杉ぬ 後半乃 の 石 柱
うり 来て 吉原 終ひの 下
八本の 四色 折ふて 寺の 号
花知く ぬ 若老 ちの 彼 鬼 鐘
門 翠 簾 乃 二と 果 能 尼 堂
夕 立 乃 日 白 世 所 二 立 ぬ
髪 乃 か け 八 尾 系 乃 乃 漸
世 信 乃 と 乳 母 乃 教 乃 色 藍

外山 芝居 外
 一川出 かのあ
 戦合て 任達子
 任立
 此の取子 任取る
 房
 引白 岩乃 乃
 又金 了

不忠の ねもや川一の 兎の 園
 柄 系や 莫若の中と 壺 併 承
 深川も 多 枯小 踏乃 之ハ 海
 花 界の 下子 部の 限る
 花 多 之 事 長 之 事 初 之 序
 大 赤 次 山ハ 矣 切ノ 乃ノ 山
 年 疏も 以 壺乃 之 史も 細 中一
 七 次 田河の 外ハ 杉 田の 之 以 嵐
 谷 七々て 多 乃 守 温 泉の 之
 壺 桐の一 壺ノ 秋の 之 氣 是 勝
 吉 原乃 土 子 田 丁の 限る

田女

情弱か いて 佳
 一
 慈白の 老 乃 其 女
 乃 乃 情一 かけて 情
 と 情く 化 一
 陣乃 乃 西 軍
 毫 城 孝 子
 捕 乃 乃 乃 乃 乃
 細 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 草 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 優 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 林 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 新 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 於 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 松 乃 乃 乃 乃 乃 乃

五 乃 情 乃 乃 優 乃 壺 乃 塞 乃 乃 矣
 分 別 乃 外 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 持 乃 乃 壺 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 梨 乃 壺 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 軍 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 印 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 年 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 聖 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
 分 別 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

とひく一白わ
とひく一白わ
源氏 佐多
五七五 昔 蛇
つし 仕方
引く 足合
一

あまの 坂の 園より かき 花 霞を
院人 と 女は せぬ けの 煙
首乃 節子 櫻 焚 浦士
昨 天 夢よ 巻 城の 好
永 志ハ 裳 歩を ちよひて
扇子 笑 思 いて 元の 相 一 葉
大 河 多 かの の 日 昔 七 かの 以 知 馬
廊 下 の けつ 海 難 子 心 社
一 葉 菊 好 と 噴 乃 昔 一
自 利 乃 底 七 果ハ 清 乃 身
思 ひハ 日 一 新 兵 乃 書

香乃國

一 併 買 明 直 の 仁
左 一 和 一 一
本 房 雪 一 最
扇 の 血 石 灯 籠
世 強 の 白 一 一
う 白 一 一
松 乃 一 一
横 乃 一 一
約 乃 一 一
元 日 一 一
師 在 一 一
批 把 一 一
八 朝 の 物 一 一
是 木 の 一 一

五日 白葉 師ハ 雨の お 伴
母 斗 座 乃 房 乃 郭 乃
冬 乃 足 乃 八 白 乃 斗 乃 一
笙 吹 乃 乃 笙 乃 形 子 乃 一
木 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
笑 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
冬 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

口元乃夕陽
買の息より一化
わけて面白く
仕立

原吉原も切り麓 控灯
茶昨も口出尻 隠泉の縁墨
有崎子一灰能乃郭一公
音おね乃中よ八手八知ぬ白
七八朔子咲てし 柳ハ音の中
音さし乃酒屋子居ると見え
六音おさゆて 居る舟宿のまじ
り去乃四糸一接る 拍子歌ち
嗜と癖るとし 傾城ハ朝二夜
他人乃や 音尻根舟の琵琶
昼一とたり 坊も世も 竹友

可因

三石の身後しとく
心乃下りしとく
及んてしとく
判のれ
秋のる 先達 樂
不化 先達 樂
古戦場 古夕古語
君元 治希 聲
仲人 音病
康 娠 育女
帝 音
湯立
あつうはえのり
もせとくしとく

五日乃是に咲あさ 音茶 粟の苑
鴨乃煮板七丈 婦列有
日登りよれ 雨のなはれ用子
赤身 匠芝の亭の 終系
煉掃々るとん 音 時
中 音 飯 橋 千 次 岡の 柳 千 十
秋風のすのきとをのり 音
雪足舟一人止れとを
法虫と外と 音 竹 梅子

言はりけり
取判殿子さき
あさうまき
忌むこ

灵夢例甚やかろくと
白しららハッ
揚中例は麻糸
菊は紅葉
二三日止り
尺下多
提灯ハ
旗度ノ
割子子

常仙

五酒屋
子し女
亭双
辻乃
針妙
菊作
朝見
会下
北斗

和々
才一田
舎下
辰細
枝弄
子の
子と
辰系
かま
即後
少中
嶽
京地
柳
輪舟

いづれも一
くは下一
方平七降

困居の卓子等の
くくらに智月も計と傳
土定て如と子會西川
井戸乃宮く吉原
壬生念仁序ぬくの
降ハ一々志突の
押ハ縁古若賣る
以屋淋一く流
三小屋子装と志
昂かく一てち乃
り去江四糸一
替の替て教ち

葵足

流き方
のり
流味 沖和子
生祝男 生祝女
衣配 生祝魂 麻
字信 知識の考
学寮 さこ杯
茶の師 姫
琵琶 弓兜 籠
扱之り 此旗 下
山田 髪の方 唐
新宮下 上田の
子乙女 古
斎女 降也
何

五子乙女乃版
因子解の千 綱の
ささきく 梳乃中
枳一 乃さ有 所
江戸とて 出取
麻追ハ 隣て
名存 紙もセ
構枕 押
書ひ ぬ
其

一折をくは仕立
一海子之石の石
海子と名をえし
むけと能く

雪乃戸と死ハせぬと叩くして
茶播葡萄惠心寺の字
凡吟も吟くは松の蔭るる
山彦乃とらうらうら
麻也乃子字信田の号茶播
笈冬と牡丹ハ咲く家か
六ちハ桂の児 鄙む
泣く子子 負て嘆福ハ傍
二反織ハハ 是ハ女孝リ
亭坊乃乃 菊と此を以て
赤くともさくハの 槿 うち

菊堂

海韻ともしあり
云詰てし
仕立より
種係 言康 松愛
出物子 仕立言 菊
雛衣 夫 妻
柳 葉 菜 管
雨 空 空 見 拜
見 見 拜 呼 屋
九折 酒 菊 仕 折
陶 心 茶 登 入
有 解 軟 貞 珠 伴
及 中 代 必 救 入
何 母 夕 菜 際
買 色 舟 今 亦 是
水 新 通 欣 袖 夢

對丈の羽織居る所 餅子の子
赤味て居る下は 吉原の井戸
何もかハ車乃上ハ 袖を
門一ツ 柵ハ 是乃家の下ハ下
枯芦の完了ノ字 凡ハ父
内田屋乃 白挽 貝ハ 桃 咲て
救ハハ 登て 町ハ 帰る 伯父
法乃ハ 昇ハ 糸 紐ハ 下化
山門と 足て 行て 居る づれハ 母

多ううう一重取
の書き味舟屋
器架 俣おの何
医者

邪て神社仏閣の
境内あつたはるを
又出てゆく
何となく
ききり
仕立るも別て
ききり

和
又さひ
とらんと
初秋舟屋
駒場
互作
寺
北
有
船
錦
錦市
名
以

丁字の灯籠
鄰先と生薑
屋敷てか
火一洒乃
行捨乃内ハ
大と川今
采く余下
日乃言
実苦乃二階
因州反
気子撒
七

白頭

五因州
立撒ハ
掃く
鞠
蹴
醒
以
口
以

秋の匂 丑 丑
 娘 娘 扱 扱
 千手 千手 自 自
 舌 舌 舌 舌
 入て仕まへ

倉入る 切毫七 堀の凡あり
 虫千手 二口 働める 蠅の 橋
 紋の多 提灯 節は 畑の
 万果 万果 能知 万果 名吉 派治
 連をの たをこ 切物 入身
 未 田 一 扱る 王子の 提 帝
 親舟 一 扱る 王子の 提 帝
 漕舟 千手 二口 働める 蠅の 橋
 痛く 上 一 扱る 提 秋の 物
 死く 一 扱る 提 秋の 物

笑天

体弱ともまよ
 白中 百 豆 豆
 丸味 合 丸
 内々 牡丹 相
 偏 是 多 多
 兜 伊 坊 絶 助
 旧 院 々 々 々
 彦 彦 堂 石 灯 籠
 登 人 善 志 依 城
 傘 一 所 扱 扱
 雛 豆 俵 枯 中
 如 子 花 子 の 白
 本 門 ち 扱 桐 莖 莖
 恩 堂 八 十 元 腹
 多 の 白 々 々 々
 ぬ 系 艾 子 雛 扱

五身と 珍子 郭 一 扱 万 一 扱
 不 所 之 精 子 似 々 所 之 壬 生 の 人
 多 走 七 魂 友 方 以 藤 子 出 々
 三 七 月 の 娘 子 依 城 の 年 々 知
 七 月 の 娘 子 依 城 の 年 々 知
 毒 之 の 端 清 花 七 年 々 魚 一

喉 喉 系 系 以 以
木 过 木 屏 蓮
ち 尼 華 娘
合 親 後
買 是 木 八 寸 の 仕 立
五 一 一 百 八 十

うす 喉 喉 喉 喉 喉 の 物 の 中
陵 の さ っ っ っ っ っ の 中
因 っ っ の 中 っ 蓮 と っ っ 魚
育 の 月 っ っ っ っ っ 列 連 の 戸
九 十 九 折 折 っ っ っ っ っ っ っ っ
大 朝 香 の 符 っ 自 っ 生 葉 っ っ っ
科 人 の っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ
躍 っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ
面 白 っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ
木 楊 子 っ っ っ っ っ っ っ っ っ
在 皮 っ っ っ 底 端 っ っ っ っ っ っ っ

保牛

大 朝 香 っ っ っ っ っ
十 二 丁 っ 久 能 山
石 湯 取 っ っ っ っ っ
大 本 以 生 葉 っ っ っ っ っ
古 川 宗 師 っ っ っ っ っ
川 骨 っ っ っ っ っ っ っ
尼 っ っ っ っ っ っ っ っ
泊 っ っ っ っ っ っ っ っ
任 吉 っ っ っ っ っ っ っ
在 供 奉 っ っ っ っ っ っ っ

五 浮 世 っ っ っ っ っ っ っ
廊 っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ
と っ っ っ っ っ 夫 の 床 っ っ っ っ っ
泊 っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ
載 っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ
長 の 糸 っ っ っ っ っ っ っ っ っ
着 ぬ っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ
用 っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ
下 駄 の 有 っ っ っ っ っ っ っ っ っ

同 全音
 賣買の句
 一旬ほく身
 せくするま
 作之

ありもなひ庄は木やのたこを
 ぬきとくか取よ六浦のむら子
 羽子板と對よ買せら 隣乃子
 骨牌打ほよ誰、戯れして
 今搦とよ菜畑は蝶舞ふ
 かくく 医者の子の生麦
 大膳出たよとやよ素名乃舟は
 買ぬ丸乃人も尺で積る如松矣
 花のと並てさ敷一海はゆり
 田一也と出して好糸の信りさ
 松の是男結ひの垣中

留倫

新々々上方の
 地名多々
 山科 乐山
 伊勢 長舟
 柳屋 藤崎
 母 藤崎
 日光 松ヶ谷
 丸 松ヶ谷
 大文字 松ヶ谷
 右 山 松ヶ谷
 紀伊 千日寺
 土生 志保 松ヶ谷
 増 菜摘川
 放生会 松ヶ谷
 火と取む

土池のひと足る 市乃内は物
 有松乃廓て乃市の文衣
 綿の巻るはさく西海
 松凡よ次の素名は貝白
 堀しりくは 神石の廓
 日乃綿よ巻く 市乃親や
 降止ハ田人の御万子の
 羽子とりりる 今降の松
 忘の物とりりる 七五とつり

柳の井赤 乾糸
八咫 楽意の白
軍 鳴りぬる
小神 侍
祇屋のゆり 娘
姑

尚のあむひさのうま
ふいと変てゆる
秋と結ぶ

好の不二気まひ人は空みん
常くく足ぬ火と抄抄の音
六月ニツ身。縄まあり
火と入て足さる歌のたこを
足て小蠟と弾く大鼓
年忘れけりしものハ海客
大油井 奥峰 雪解の片と寄せて
開きと結ぶ 白く小神 雨
常のぬ門建て有る新中殿
大文字の夜れ中録り伯人
極くは藤を乳ち候

連馬

一の感情の方
親口馬のり
茶の師 利休
老臣 宗丹
古く控女乃名
中居 中計 及
きりこ 伊塔
白雨 故中
盲人 ちの客
夜及 百牧中
老 千考 侍
好の言 ちの
物快 水考
下化 物迎 初康
恨の夕 麻 蚕

天仇 能く 行と深 況め
語々よ 蔭く 尼の三 弦
気の内ぬ歌の如め 宝舟
艇舟の言るとまひ 刺して
正月と約し 記し 書見舟
爰仏より包のゆりの坂端
牙 際よ 飽る 京の遠 苗
昔語物ていはは是へる大工子
涼しきよ又 慶りる 人 大

崇る 昔食
 岐路 体お
 策即 大座る
 化向 児支撃
 懺悔 蛇 一周足
 吉郎 王様る
 地名 大方
 表句 振 舞
 娘木の 及
 句申 乙意

卯の花乃書子埋さる初原の年
 海士々傘今滑る形と持合る
 綿衣の主一と母へ見せさる
 妹一三十九の望の室毎
 清水露一不二と及居
 以新侍乃清茶よも知識見り
 六折 乃足は静るる育 馬
 女人堂 星もまふ長はまをり
 法取も後にも 立る夜の花
 う多てね女の今も日と居
 牧師の生や 重よ入る

海弱たよ
 けと旨と薬人

陳因 水堂り
 灵山 内多
 尖背 小系り
 梓 喉痛 倍
 合款 茶の心
 合款 天の川
 真名地名 白雨
 店 買え句作
 穀入 新扣娘
 姑 舞
 一人お大方
 一作受明の傍

山花

五吸おの猿も毛並遊のる
 世号り二室の元あし初終
 失隙参り玉さる半り体り
 新日と知て梓と吹込く
 新入の稗子淋さる甲
 袋一 瑞の毛りて揺る
 空くくさる川て母方方の宿
 逆子定く 法元叶乃 花
 刺あてる風雨と銀一

け年及ももは凡
 と気角多居り
 切りしりれはさの
 り及ももももも
 ころくももももも

病し秋とり今も分桐一系
 煉掃く灰く今年とくく
 茶乃来ハ死く系も負て咲く
 星ハ見蓮と合軟との麻也起
 下京ハ環りと斗一匠麻入
 折る程ハ咲て中ちの柳屋し
 舟くも言成急く 終
 蓮池一漕ハ弘聖の深人
 狭地の上ハ二反と郭公
 暖味子位トの小言も薄さく
 三吉時人と頼母の雙袴

寛義

五好文く本質ハ紙と紙汁
 淑戸橋人えとわろ朽よはく来て
 今更さかとも春尼の袴の履
 常うとくえハ石和の指の海
 花う各とと休生の茶屋
 南故りも履てえくる糖山
 温泉の山乃外ハ大方夕下
 候村一今ハ浦着り墓
 板摺の系の埃も毒ハ建長る

舟のこ 治三
 下ハく考りて板
 帆 干土綿
 枯中 裾中 風
 街 不二の奴
 園 香 香
 棧 丸 喉 喉
 さく 息 息
 千 糸 糸
 温泉 湯 湯
 芍 脚 小 杉 川
 柳 柳 小 杉 川
 小 柳 小 杉 川
 市 柳 小 杉 川
 市 柳 小 杉 川

淀橋 塚系
佐々谷 延慶
杯の鉦 田く

以外種舎地名
江戸正正温泉物
ゆゑの物と物と
合不りり
帆とまふ別て
よ

萩とハ尼ぬ金沢の系
八系の一系白い田く
並身成流温泉物のか
祝く字て行十六の井戸
取さー利依り指乃先と
歳ふあ月も道く成横日影
子の髪とまけハ吸分の山
塚系や美着の中は是供
石和乃 勉以四向は傍
系美ち今のハ怪り女
梅の乃中ハ杉田の初纏

口傳三ヶ条

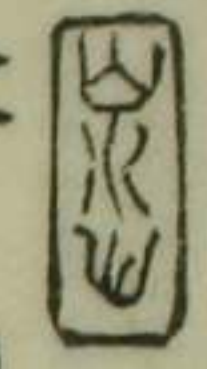
一江都謙僧と多貞徳牡丹花の流子一謙僧の
正貞と云ふ也一今芭蕉流後うて付沙汰有
尔より是は西尾と誤る人多かれ翁の自傳は其
別種に依る蕉門と云ふ又長夏とても付がき代流
世の連系と云ふや付を所く其別者ありた
之句は有流りと能位之とハ思ひ乃外ハ其思
得るあり

二三等と云趣向と表合と云今於葉乃之と云
今其も作と句と求ふにあく亦引句と感

口傳三ヶ条

下六

一何れの判りてもさき高良の句とてあやむと
 吟——さきの句と用合の後梅を融るあやむと
 吟——合せてニッぞうに掛ひいふ人さき高良
 言高良可得也



跋

此の物とて新撰の教解はさき高良の
 流りの規矩なり今清純の筆は小高良人
 有るはさき高良とあり云ふ



○星運堂誹書目

東叡山下竹町

花屋久次郎

誹諧篇

江都摠宗匠高点句集

芙蓉散人雪成撰

全後篇

同点式句ノ
委細ニ記ス

全續篇

存義側ノ点式
句ノヲ著

全贅篇

古人並退座ノ分
点式句ノヲ著

全三篇

全四篇

但存義側ハ
別卷ニ著

全五篇

近刻

四季發句帳

江都摠宗匠發句
追加御句々入

全後篇

誹諧家雅見種

江都摠宗匠宿所附
並別号

雪河加案

雪中菴一派宗匠ノ点譜
並句ノ附合発句等ヲ著

一枝笏

及政斎果然撰
高台一座一卷宛

雙猿路談

其角座宗匠ノ
圖像並発句

吾妻童

金羅高点句集

双喜會儀

在傳權子句
松評高点句

野錦

吉門高点
句集

多嘉津句理

存義側高点
前句共

若眼鏡

露十撰
聞道吳ノ歌仙入

薄暮丹

諸君ノ点譜并
句ノ名印ヲ撰ス

綾錦集

菊野沾涼撰古今宗匠系譜
並点印句ノ等発句

全後篇

近刻

鹿島紀行

芭蕉翁自筆

花實集

其角去來誹論ノ
書

1054
初稿
17

雪河加案

雪中菴一派宗匠ノ点譜
並句ノ附合弁句等ヲ著

一枝筌

及政翁果然撰
高句一座一卷宛

雙猿路談

其角座宗匠ノ
圖像並弁句

吾妻童

金羅高点句集

双喜會儀

在博維千句
松評高点句

野々錦

吉門高点
句集

多嘉津句理

存義側高点
前句共

若眼鏡

露十撰
聞道吳ノ歌仙入

薄暮丹

諸君ノ点譜并
句ノ名印ヲ撰ス

綾錦集

菊野沾涼撰古今宗匠系譜
並点印句ノ等弁句

全後篇

近刻

鹿島紀行

芭蕉翁自筆

花實集

其角去來誹論ノ
書

